

あこう



市議会だより

第138号



平成28年1月4日発行

迎春

- 2～3 P 議長新年あいさつ
議員から新年の抱負
- 4 P 平成26年度決算審査
- 5 P 11月定例会より
一般質問者と質問事項（質問順）
「産業廃棄物最終処分場建設に反対する
都市宣言」に関する決議
- 6～7 P 議案等の議決結果・議員別賛否
- 7 P 議員研修会の開催
相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の
開催
- 8 P 平成27年議会のあしあと
議会活動状況
編集後記

新年のごあいさつ

赤穂市議会議長 家入 時治

平成28年の輝かしい新春をすがすがしい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

市議会の役割は、地方分権改革の進展や地方創生が急務となっています。今日、行政のチェック機能としてだけでなく、少子高齢化・人口減少対策、地域経済活性化のための政策提言や情報発信力の強化も求められています。

また、議会改革を継続しながら、市民の皆様の負託に応えていけるよう決意を新たにしております。

さて、本市における人口の推計では、平成72年には約2万8千人となることから、5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた赤穂市総合戦略を策定し、本年からその本格的な取り組みがスタートいたします。継続した取り組みによる将来展望人口は、平成72年で3万5千人であります。

これから市民の皆様と赤穂市総合戦略の内容を共有し、ご理解とご協力を得ながら、施策を積極的に推進し、情報発信を強化していかねばなりません。

「住むのにちょうどいいまち」赤穂は、病院、文化・スポーツ施設が整い、自然環境にも恵まれています。

しかしながら、管理型産業廃棄物最終処分場建設計画は、建設されれば将来にわたり生活環境や地域経済に大きな打撃を与えかねません。

市議会としましては、市民の皆様の願いを叶える形で、昨年12月の議会におきまして、「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」を決議しました。

今後も市民の皆様の声をお聞き活かしながら、議会の役目を果たしていく所存であります。

皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

議員から新年の抱負

(掲載は議席番号順)



藤友 俊男

市議会に復帰して早や3年目の新春を迎え、多くの市政課題と地区及び市民の方々の様々なニーズに応える活動を精力的に展開する決意を新たにしています。



土遠 孝昌

昨年に続き今年も、市民の皆様が、安全で安心して暮らせるまちづくりに、また活気あるまちづくりに、頑張ってお取り組みをまいります。



小林 篤二

赤穂の環境が心配です。産廃処分場、石炭火力、危険な所に太陽光発電と不安山積です。定住の決め手は安全安心。住み続けられるまちづくりへ奮闘します。



奥藤 隆裕

皆さまにも幸多き年になるよう祈っております。私は四年間の議員の任期の最後の年となりました。本年が仕上げの年と考えております。



山田 昌弘

初心を忘れず、皆様のお声をしっかりお聞きし、地域の課題・問題を的確に捉え、住んでよかった、住みたいまちづくりに真剣に取り組めます。



釣 昭彦

市民の皆様には平素から安全・安心で過ごせる街を目指し、子どもには夢が持てる街、高齢者には住んで良かったと満足される街に取り組んでまいります。



前川 弘文

どんな状況であれ「一人ひとりが輝く社会」の建設、そして、どんな形でも「社会貢献できる活動寿命」の延伸。そのための政策に全力で取り組みます。



木下 守

地方の創生が求められています。赤穂市の貴重な資源を知恵と行動で活かし、市民ニーズに応える活力あるまちづくりに取り組んでまいります。



竹内 友江

朝ドラ「あさが来た」は、男女共同参画の先駆け。女性が活躍（出馬）できる環境（場）を整えるため、女性目線で、本年も取り組みます。



重松 英二

人口減少、少子高齢化、厳しい財政状況の続く中、市民の皆さんと夢と希望の持てる街づくりに取り組んでまいります。産廃には断固反対いたします。



有田 光一

新年あけましておめでとうございます。人口減少社会が進む中、本市の持つ魅力を生かし、誰もが住みやすい、「赤穂」のまちづくりに努めます。



川本 孝明

豊かな自然環境を未来に残すことが、私たちに課せられた使命と考えます。産廃・石炭火力をストップし、明日に希望の持てる社会を目指します。



瓢 敏雄

今任期も終盤を迎えようとしています。改めて、皆さんとお話したことを思い起こし、所期の志を貫き通すことができるよう努力をしていきます。



永安 弘

このまちを、次の世代に引き継ぐため「市政に心」を胸に、全力で議会活動に取り組んでまいります。



藤本 敏弘

住み良いまちづくり、観光のまちづくりに力を入れている今、管理型の産業廃棄物最終処分場の設置計画に対し反対運動を皆様と共に頑張っております。



小路 克洋

本年は、私たち議員にとって、任期の最終年度を迎える年でもあり、活動の集大成として、市民福祉の向上を更に充実させる為、結果の出る活動に努めます。



田端 智孝

夢のある赤穂のまちづくりを目指し、人口減少社会が抱える諸課題に鋭意取り組んでまいります。



家入 時治

赤穂の魅力を拡大し、新たな魅力も作り上げ、国内外に情報発信していかなければなりません。皆様の知恵も頂きながらリーダーシップを発揮していきます。

年賀状等あいさつ状の禁止について

議員は、選挙区内の皆様に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等の挨拶状を出すことが禁じられていますので、ご理解をお願いいたします。





予算執行は行政効果をあげたか

平成26年度 決算の審査

11月定例会の初日に、決算審査等の経過並びに結果について、決算特別委員長から報告されました。その後、委員長報告に対する質疑、討論を経て表決の結果、決算については、一般会計、4特別会計（公共下水道事業、農業集落排水事業、駐車場事業、後期高齢者医療保険）、病院事業会計、介護老人保健施設事業会計、水道事業会計、に係る合計8議案については、賛成多数で、その他の4議案については、全会一致で認定しました。また、平成26年度赤穂市水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、全会一致で可決しました。（詳細は、6頁を参照）

【総括質問】

市民病院の今後のありかたについて

①診療所運営の方向性について

市長 現在運営している福浦診療所・高雄診療所・有年診療所の3つの診療所周辺においては、民間の医療機関がないことから、周辺地域住民の医療を確保していくことは、市としての使命であると考えているが、診療時間や医療日数の減少、また平成24年8月からの院外処方開始に伴い患者数が減少している状況にある。

薬局に足を運べない高齢者や身体の不自由な患者の皆さまに対して薬の宅配サービスを実施しているほか、症状の安定している方には、処方日数を長くして受診する負担軽減を図るなど対応している。

また、診療所の体制については、専属の医師としては、不在であり、市民病院から医師を派遣し、現在の診療体制を維持している。全国自治体病院協議会のホームページに掲載するなど募集しているが、未だ常勤医師確保には至っていない。

診療所については、地域住民の医療を確保するため、引き続き幅広い医師の募集を行いながら、当面は市民病院の医療体制と調整し、存続させていく考えである。

問 へき地診療の認定の考え方は

答 厚生労働省の要綱では、概ね半径4キロ内に診

療所がないことなどの要件があり、その要件に適合した有年診療所のみが該当になっている。

問 医師確保のため民間医療機関との連携の考えは

答 どこの民間医療機関も手一杯の状況であり、民間医療機関等へ医師の派遣は依頼していないが、民間との協議については、医師会等を活用し、話ししていきたい。

問 診療患者数の見込は

答 患者数は、診療体制に大きく影響されるが、現在は不規則な診療体制である。医師の派遣体制を整え、利便性が向上すれば患者数は増える可能性はあるが、当面は医師確保が難しいため、現患者数を維持していきたい。

決算特別委員会

委員長	藤本 敏弘	副委員長	奥藤 隆裕
委員	土遠 孝昌	委員	木下 守
〃	有田 光一	〃	川本 孝明
〃	永安 弘	〃	田端 智孝

【審査日程】

- 10月1日（木）市民病院、上下水道部
- 8日（木）議会事務局、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員事務局、総務部、市長公室、危機管理監
- 15日（木）市民部、健康福祉部、建設経済部、農業委員会
- 20日（火）消防本部、教育委員会
- 28日（水）市長に対する総括質問



11月定例会より

平成27年11月（第4回）定例会を、11月25日から12月10日までの16日間にわたり、開催しました。

この定例会において、継続審査中の平成26年度決算の審査等について委員長報告を行い、その後、質疑、討論を経て、認定、可決しました。

また、平成27年度一般会計補正予算、専決処分報告、人事案件、条例の制定など26議案を審議し、8議案を賛成多数で可決、18議案について全会一致で承認、同意、可決しました。（詳細は6頁参照）

なお、一般質問は、12月9日、10日の両日で行われ、11名の議員が登壇し、明石市政を質しました。

次に、1件の陳情書を全会一致で採択し、それを受け、「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」に関する決議案を全会一致で可決しました。



“討ち入り装束”で本会議でござる!!

一般質問者と質問事項（質問順）

釣 昭彦 議員

- I Tを活用した観光振興について
- 産業振興について
- 市債の抑制について
- 定住支援について

土遠 孝昌 議員

- 職場の安全管理について
- 尾崎・御崎地区都市再生整備事業について
- 市有地の土地活用について

山田 昌弘 議員

- 空き家対策について
- 獣害対策について
- 有年土地地区画整理事業について

前川 弘文 議員

- 多子世帯に対する保育料等の経済的負担軽減の拡充について
- 訪問看護ステーションが行う訪問看護療養費への福祉医療費助成制度の適用について
- 空き地等の適正管理について

重松 英二 議員

- 観光都市にふさわしい駅前づくりについて
- 赤穂義士、忠臣蔵等歴史資源の再生について

木下 守 議員

- 御崎太陽光発電について
- 関西電力赤穂発電所の石炭への燃料転換について
- 市所有（管理）の駐車場と小中学校屋外運動場の駐車場利用について

奥藤 隆裕 議員

- 野中・砂子の土地地区画整理事業について
- 坂越湾での水上オートバイの使用について
- 加里屋川の改修について

川本 孝明 議員

- 関西電力赤穂発電所の石炭火力への転換問題について
- 高野家畜施設の飼育頭数制限基準について

瓢 敏雄 議員

- 義士祭について
- いわゆる「すぐやる課」を設置できないか
- 歩道橋の整備について

竹内 友江 議員

- 地域自治会活動支援の内容について
- 開発行為完了区域の状況について
- 子どもの安全確保・学校園所の防犯について

小林 篤二 議員

- 御崎地区太陽光発電設備設置計画について
- 高野産廃の環境保全協定案では、市民の懸念を払拭できない。特に協定案第11号操業の停止にあたる「次の事態」について伺う。

「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」に関する決議

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を掲げる赤穂市は、まちの中央を流れる清流千種川や北部の緑豊かな山々、南部の波穏やかな瀬戸の海など景観に恵まれたまちである。

私たちは、とりわけ市民共有の貴重な財産であるかけがえのない自然を、より豊かで恵みのあるものとして将来の世代へと継承していかなければならない。

産業廃棄物最終処分場が建設された場合、市民の健康を害する恐れがあり、将来にわたり、瀬戸の海や山々などの豊かな自然や千種川の汚染と生物の生存基盤となる自然生態系への負荷の増大が懸念される。さらに搬入時の廃棄物の飛散による自然環境、生活環境への悪影響や養殖が盛んな牡蠣などの海産物への風評被害をはじめ、忠臣蔵のまちとして全国的に知られている観光面への影響も危惧される。

赤穂市は、豊かな自然環境や市民の安全・安心な生活環境を保全し、自然と共生するまちを目指している。本市議会は、将来にわたり不安を抱き続けることとなる産業廃棄物最終処分場建設に反対することを、ここに宣言する。

以上、決議する。

平成27年12月10日

赤穂市議会



11月(第4回)定例会の議決結果・議員別の賛否

賛成：○ 反対：×

議案等番号	件名	議決結果	藤友俊男	土遠孝昌	小林篤二	奥藤隆裕	山田昌弘	釣昭彦	前川弘文	木下守	竹内友江	重松英二	有田光一	川本孝明	瓢敏雄	永安弘	藤本敏弘	小路克洋	田端智孝	家入時治
認 第 1 号	平成 26 年度赤穂市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 2 号	平成 26 年度赤穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 第 3 号	平成 26 年度赤穂市職員退職手当管理特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 第 4 号	平成 26 年度赤穂市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 5 号	平成 26 年度赤穂市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 6 号	平成 26 年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 第 7 号	平成 26 年度赤穂市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 第 8 号	平成 26 年度赤穂市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 9 号	平成 26 年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 10 号	平成 26 年度赤穂市病院事業会計決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 11 号	平成 26 年度赤穂市介護老人保健施設事業会計決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認 第 12 号	平成 26 年度赤穂市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第84号議案	平成 26 年度赤穂市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 第 13 号 専 第 7 号 専 第 8 号	専決処分の報告について 御崎小学校耐震補強外工事請負契約の締結に係る議決変更について 赤穂中学校耐震補強外工事請負契約の締結に係る議決変更について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第96号議案	平成 27 年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第97号議案	平成 27 年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第98号議案	平成 27 年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第99号議案	平成 27 年度赤穂市公共下水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第100号議案	平成 27 年度赤穂市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第101号議案	平成 27 年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第102号議案	平成 27 年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第103号議案	平成 27 年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第104号議案	平成 27 年度赤穂市介護老人保健施設事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第105号議案	平成 27 年度赤穂市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第106号議案	赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第107号議案	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第108号議案	赤穂市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第109号議案	赤穂市入湯税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。



賛成：○ 反対：×

議案等番号	件名	議決結果	藤友俊男	土遠孝昌	小林篤二	奥藤隆裕	山田昌弘	釣昭彦	前川弘文	木下守江	竹内友二	重松英一	有田孝明	川本敏雄	瓢敏弘	永安敏弘	藤本敏洋	小路克洋	田端智孝	家入時治
第110号議案	赤穂市個人番号カードの利用に関する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第111号議案	赤穂市住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第112号議案	赤穂市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第113号議案	赤穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第114号議案	赤穂市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第115号議案	赤穂市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第116号議案	赤穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第117号議案	姫路市との間において連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結することについて	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第118号議案	赤穂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第119号議案	赤穂市自然環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、
表決には加わりません。

議員研修会を開催

〈西播磨地域における公立病院等の現状について〉

市議会では、赤穂市民病院が二期構想を進める中、今後の地域医療を考える上で、西播磨地域における公立病院の現状等について、赤穂市民病院名誉院長の邊見公雄先生を講師に迎え、研修会を開催しました。

将来を見据えた地域医療ビジョン等について、先生の私見も交えた講演後、市民の安心な生活確保のため、活発な質疑応答を行うなど、現状と課題についての理解を深めました。

日時 平成27年11月4日(水) 午後1時30分～

場所 赤穂市役所 6階大会議室

講師 公益社団法人 全国自治体病院

協議会 会長

赤穂市民病院 名誉院長

邊見 公雄 氏

演題 「生命輝かそう赤穂市民」

～地方創生と地域医療ビジョン～

(2025年、2030年を見据えて)



相生・赤穂広域幹線道路整備 促進協議会を開催

相生・赤穂両市の広域幹線道路である国道250号高取峠のトンネル化と県道那波竜泉線の整備促進を目的として、平成13年に発足した当協議会は、近年活動が無い状況にありました。しかし、これらは地域間交流の促進、産業基盤の強化、地域の活性化等に寄与する重要な路線であることから、早期事業化、早期完了をめざし、今後の定期的な協議会の開催や県・国への要望活動などについて協議を行いました。

日時 平成27年12月15日(火) 午後2時～

場所 赤穂市役所 6階大会議室



平成27年議会のおしあと

◆ 議会の開催状況

区分	会期	本会議日数	質問者数	
定例会	2月(第1回)	25	6	7
	6月(第2回)	19	4	11
	9月(第3回)	16	4	10
	11月(第4回)	16	4	11
	計	4回	76	18
臨時会	3回	3	3	—
年間合計	7回	79	21	39

◆ 委員会等の開催状況

名称	委員会			協議会	
	会期中	閉会中	合計		
常任委員会	民生生活	4	1	5	11
	建設水道	4	1	5	8
	総務文教	5	1	6	6
	合計	13	3	16	25
特別委員会	幹線道路建設			2	
	決算			6	
議員協議会				1	
議会運営委員会				17	
会派代表者会				16	
議会報編集委員会				12	

◆ 請願・陳情・意見書・決議の審議結果

区分	内容	結果
請願	1 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択 全会一致
陳情	1 安保関連法案(戦争法案)の速やかな廃案を求める意見書を提出されるよう陳情します。	不採択 賛成少数
	2 安保関連法案(「戦争法案」)の速やかな廃案を求める意見書を提出されるよう陳情します。	不採択 賛成少数
	3 「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」に関する陳情	採択 全会一致
意見書	1 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	可決 全会一致
	2 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書	可決 全会一致
決議	1 「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」に関する決議	可決 全会一致

議会活動状況

11月

- 2日・議会運営委員会
- 4日・議員研修会
- 6日・宮城県柴田郡柴田町議会行政視察(来庁)
 - ・民生生活委員会協議会(決議案協議)
 - ・議会運営委員会
- 9日・青森県黒石市議会行政視察(来庁)
- 10日・全国市議会議長会評議員会(東京都)
- 16日・播但市議会議長会総会(宍粟市)
- 17日・議会運営委員会
 - ・会派代表者会
 - ・議会報編集委員会
 - ・民生生活委員会協議会(設計協議)
- 20日・東備西播定住自立圏形成推進協議会(赤穂市)
- 24日・兵庫県市議会議長正副会長会(赤穂市)
- 25日・本会議[第4回定例会開会]
 - (報告、議案説明、人事案件等)
- 27日・本会議(議案質疑等)
- 30日・民生生活委員会(付託議案審査)
 - ・民生生活委員会協議会(陳情の審査外)

12月

- 1日・建設水道委員会(付託議案審査)
- 2日・総務文教委員会(付託議案審査)
 - ・会派代表者会
 - ・議会運営委員会
- 4日・建設水道・総務文教委員会合同協議会(竣工検査)
- 9日・本会議(一般質問7名)
- 10日・本会議(一般質問4名、議案表決等)
 - [第4回定例会閉会]
 - ・議会報編集委員会
- 15日・相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会(赤穂市)
- 17日・議会運営委員会
 - ・議会報編集委員会
 - ・赤相農業共済事務組合議会(赤穂市)
- 25日・民生生活委員会協議会(協定案の協議)

編集後記

- * あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしく願いいたします。
- * 1月号より、これまでの右綴じから左綴じに紙面を刷新いたしました。今後も、読みやすく親しみやすい市議会だよりを目指し取り組んでまいりますので、皆様のご意見をよろしく願いいたします。